



2022年 1月11日  
第105号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 春闘でよく聞く言葉だけど、それって何？

### ベースアップ

コロナ禍であっても「労働者の労働力がなければ利益を生み出すことはできない」という社会の仕組みは変わりません。安全・安定輸送に加え、清潔・安心が求められ、日々感染防止対策を行いながら業務を行っていること、変革のスピードアップに向き合っていることを考えると、むしろ私たちの労働力の質は高まっていると言えます。

ベースアップは「労働力の価値の上昇」や物価上昇による「労働力の再生産費（衣食住のための生計費、次世代の労働者を育てる費用つまり子どもの養育費など）の上昇」を踏まえ、労働力の価格を引き上げる、つまり基本給を底上げすることです。コロナ禍の影響でマスクや消毒品の購入額も増えていませんか？そういった費用も含まれます。



### 定期昇給

定期昇給は「経験」による労働力の価値の高まりに対応するものですが、年を重ねるごとに増えていく生計費（例えば子どもの学費など）を支える意味合いも含まれています。生活を安定させ、将来への不安を感じずに仕事へ集中できるからこそ、労働の高い質を維持できます。



しかし、定期昇給は「あって当たり前」ではありません。昨年、JRグループ内でJR東日本だけが経営悪化を理由に「昇給係数2」という回答を行いました。「昇給係数4」での定期昇給を要求し、団体交渉を経て実施されています。従って、雇用維持に加えて、定期昇給の「昇給係数4」の確保を求める必要があります。

### 期末手当

期末手当（夏季手当、年末手当）は、その時期の企業の「業績」が大きく影響するのが一般的です。2021年度期末手当においては、夏季・年末ともに2ヶ月という国鉄の分割・民営化以降、最も低くなりました。

## 仲間と学び議論し支え合い！ 22春闘をたたかったいこう！

